

雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和5年 5月9日発行

御明神小学校 地域学校協働活動

～御明神をチョウセンアカシジミが舞う郷に～

デワノトネリコの苗木植樹

4月20日（木）御明神小学校4年生9名は町の天然記念物チョウセンアカシジミの繁殖を目指し、竜川河川敷に地域の方々の指導・援助の下、デワノトネリコを20本植樹しました。苗木は雫石町長山在住の関山房兵（ふさえ）さんから提供していただき、地域に住む春木場武実さんと瀧沢秀政さん（竜川の水と緑を守る会）、高橋良和さん（NPO 法人環境カウンセラー）に、苗木の植え方を教わりながら、児童は50cmほどの苗木を植えました。

御明神小学校は地域学校協働活動（コミュニティ・スクール）で地域と協働しチョウセンアカシジミの保護活動に取り組んでいます。校舎の北側にあるデワノトネリコには毎年卵が産みつけられ、夏至のころには羽化し、短い期間ですが蝶が舞う姿が見られます。しかし、個体数が少ないことから、御明神小学校から地域に生息地を広げ、御明神地区の財産になっていくことを地域の方と目指しています。今回は学校の敷地内だけではなく校外（竜川流域）にも繁殖地を広げる試みです。

この日植えたデワノトネリコが、成長するには数年かかります。すぐに結果が分かることではないだけに、想いを共有し、次の世代に繋いでいくことが大切な取組です。

私たちは、デワノトネリコの葉っぱしか食べないんだよ！
御明神小のみんな、木を植えてくれてありがとう！！



※チョウセンアカシジミは日本では岩手、山形、新潟のごく一部にだけ生息する珍しい蝶です。

4月21日（金）の岩手日報、盛岡タイムズの紙面にも詳しい内容が掲載されました。



デワノトネリコの苗木

しっかりと踏み固めるよ、ヨイショ、ヨイショ！



最後に、枯葉をかけて、完成！



4mの高さに剪定した、校舎裏側のデワノトネリコ

火山防災フォーラムへ向けての取り組み

10月19日（木）に雫石町で開催される「2023年火山防災フォーラム」で西山小学校6年生が研究発表をおこないます。それに向け昨年度末、3月9日（木）、3月14日（火）にNPO法人土砂災害防止広報センター・国土交通省・岩手河川国道事務所の方々を講師に5年生（現6年生）20名は火山防災の基礎について学びました。

第1回目は「災害への備え」をテーマに模型を使った実験で、火山噴火や火砕流・土石流の仕組みを学びました。児童は、西山地区内に建設中の砂防堰堤（砂防ダム）があり、火山への備えが身近にもあることを知りました。

第2回目は地域の方々も招き、6年生と「岩手山の恵み」について学習しました。雫石町観光商工課の方から雫石町の観光資源について説明を受け、一緒にグループワークで意見交換をしました。岩手山の恵みについて、「温泉」「スキー」「食べ物」「水」「景色」など様々な発見がありました。2回の学習で岩手山が噴火の可能性のある活火山でもあり、地域へ恵みをもたらす大切な山であることを学びました。

今後は、地域の方々と協働しながらワークショップや現地調査、授業研究等で学習を深めていきます。



水蒸気爆発実験に驚く直前の児童たち



岩手山のめぐみについて、地域の方と活発に意見交換をしました



雫石小学校 交通安全教室

地域の方が自転車の路上訓練をサポート

4月19日（水）、雫石小学校で交通安全教室が行われ5、6年生は自転車の安全な乗り方を、学校周辺の道路を走行しながら学びました。自転車走行ルート上のポイントとなる地点に、3名の民生委員の方がボランティアで立ち、「一旦停止して、左右確認してね」「車が来てるから左に寄ってね」と路上訓練がスムーズに行われるよう児童に声掛けを行いました。地域の方も自転車や歩行時のルールを改めて確認しながら児童に声をかけました。この日は風が強く、両手でハンドルを持たないとふらつくので、「しっかりハンドルを握ってね」と命を守ることを優先に臨機応変に呼びかけました。

交差点では一時停止をするよ



中町二・三 齊藤順子さん



晴山 猫平吉男さん



高前田一 下川原正之さん